

関西学研都市情報系研究機関の導入事例

大規模ネットワーク
ストレージシステム

YIS flex filer

SNA3-1TBG



言語資源の蓄積と知的自然言語処理システムの研究開発に於いて、億単位のWeb文書の蓄積、抽出、検索を繰り返すシミュレーション用途に大規模で高速なファイル共有システムと、大規模なメモリシステムのニーズが高まり、導入に至ったシステム群です。

導入されたシステムのストレージ容量は600TBを超え、耐障害性を考慮したRAIDにより構築されています。

ペタサイズを超える規模まで拡張が可能であり、同時にメモリの物理容量も2テラバイトを超える大規模システムとなっています。

温度、FANの回転数などはシステム基板上に搭載されたIPMI機能により監視し、ディスクメディアはRAIDコントローラのWebインターフェースにより監視しています。

オンサイト保守を提供していることからメールによるアラート管理を実施しています。

他にもSNMPを用いて外部のサーバーから常時監視を継続する方法を取ることも可能であり今回導入したプラットフォームは管理ツールも自由に選択が可能です。

今後はMPIを使用する環境に併せ、40Gbpsのスループットを提供するInfiniBandのインターコネクトを採用しているため、ノンチューニングで300MB/secのNFS通信が可能なNFS/RDMAを提案予定です。